



炭鉄港アートプロジェクト2025

# 炭鉄港

Light in Sound 1938-1994

Installation

大黒淳一  
上遠野敏  
西田秀己

Live Performance

有馬圭亮  
大黒淳一  
小川紗綾佳  
畠中秀幸

Art Director

端 聡

2025.9.20(SAT)-10.13(MON)

(入場無料)11:00~13:00/14:30~16:30 うち最終入場は各30分前

旧住友赤平炭鉱立坑櫓内(北海道赤平市字赤平485)

主催・お問合せ 炭鉄港推進協議会 TEL:0126-20-0034(平日8:45~17:30)

企画 CAI現代芸術研究所/CAI03

協力 赤平市 赤平市教育委員会 赤平炭鉄港推進協議会 赤平商工会議所 NPO法人炭鉱の記憶推進事業団  
赤平コミュニティガイドクラブTANTan 43d 一般社団法人「結び」 A cubic 【Naja】

助成 公益財団法人福武財団

受付：赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設

9.20(SAT) 15:00 オープニングライブ

9.21(SUN) 15:00 シンポジウム

10.4(SAT) 14:00 ACTワークショップ (事前申込)

特設サイト





# 炭鉄港アートプロジェクト2025

2025.9.20(SAT)-10.13(MON)

旧住友赤平炭鉱立坑櫓内(北海道赤平市字赤平485)

- 9月20日(土)  
12:00~13:00、14:30~16:30
- 9月21日(日)~10月13日(月祝)  
11:00~13:00、14:30~16:30  
うち最終入場は各30分前



## 大黒淳一 (サウンドメディアアーティスト)

音楽領域を拡張するサウンドアーティスト、作曲家、プロデューサー  
札幌大谷大学 音楽学科 教授、1974年札幌生まれ  
幼少から作曲を始めて国内の楽曲コンテストで全国グランプリを受賞  
2006年にベルリンへ渡りヨーロッパ各地でSONYやユニクロなど  
海外CM等の商業音楽から北京オリンピックや上海万博での音楽  
プロジェクト、世界各地でのフィールドレコーディングを行う。2017年  
ゲストアーティストとしてZKM(ドイツ)に滞在、日本初の43.4ch立体  
音響商業施設であるコニカミノルタプラネタリウムの立体音響空間設計  
及び音楽監督まで幅広い作曲活動を行いながら、現代美術の分野では  
札幌500m美術館賞グランプリ展(2014)、札幌国際芸術祭(2017)  
炭鉄港(2024)など国内外でサウンドアート作品の発表を行っている。  
43d主宰、Ableton認定トレーナー、2021年札幌文化奨励賞



## 上遠野 敏 (美術家)

1955年福島県生まれ、東京藝術大学大学院彫刻専攻修了。  
札幌市立大学名誉教授、札幌芸術賞  
主な展覧会に「芸術の森美術館インсталレーション#4上遠野敏」  
「北日本の5人作家達」(ハンブルク総合芸術館カンパナゲル)  
「虚実皮膜」(札幌芸術の森美術館)、「札幌国際芸術祭2014」  
(500m美術館)、「上遠野敏展 命と祈りの約束」(500m美術館)  
など。「札幌駅南口モニュメント」門柱、列柱、壁面彫刻の3部構成  
の監修・デザイン・制作も手掛ける。アートディレクターとして「札幌  
市生涯学習総合センター館内アート設置計画」、「Beautiful  
Japanese Heart Project 平和の旗・札幌コンベンションセンター  
開館1周年事業」、「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト」、「札幌  
国際芸術祭2017札幌の三至宝、北海道の三至宝、円山公園の  
企画」など



## 西田秀己 (美術家)

1986年 北海道出身、東京都在住。北海道で建築・空間デザインを  
学んだのち渡欧、ノルウェー王国ベルゲン芸術デザイン大学にて美術  
修士を取得。建築に見られる機能的形態をしばしば引用しながら、  
風景と人との対話を生む環境インсталレーション作品を多く手がける。  
これまでポーラミュージアムアネックス展(2024年/東京)、浪漫台  
3線藝術季(2023年/台湾)、中之条ビエンナーレ(2019年/群馬県)  
Unmanned 無人駅の芸術祭(2018年/静岡県)、光州ビエンナーレ  
(2014年/韓国)、札幌国際芸術祭(2014年/札幌)ほか多数で  
作品を発表。ロンドン・台北での活動を経て、2018年からポーラ美術  
振興財団在外研修員としてモスクワに滞在し、ニコラ・レニエツツ芸術  
公園の活動を取材する。現在は女子美術大学芸術学部 准教授。

ライブ ( Live Performance ) / シンポジウム ( Symposium ) 各受付 : 赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設

9.20(SAT) 15:00 オープニングライブ(自走桟工場)

ライブパフォーマンス : 大黒淳一 (作曲家・サウンドメディアアーティスト)  
畠中秀幸 (フルート奏者・建築家)  
小川紗綾佳 (作曲家・ピアニスト・打楽器・シンガー)  
有馬圭亮 (作曲家・ピアニスト)

9.21(SUN) 15:00 シンポジウム(ガイダンス施設)

登壇者 : 上遠野 敏 (美術家)  
酒井 裕司 (NPO法人炭鉱の記憶推進事業団)  
井上 博登 (赤平市教育委員会学芸員)

## 畠中秀幸(フルート奏者・建築家)

建築家・音楽家。1994年京都大学工学部建築学科大学院修士課程修了。2003年建築設計・音楽企画事務所「スタジオ・シンフォニカ」設立。  
2009年北海道吹奏楽プロジェクトを設立。2011年に脳卒中を患い、右半身の機能を失いつつも、建築家・左手のフルーティスト・指揮者として活躍中。  
2024年、音楽之友社より「左手のフルーティスト 畠中秀幸」の発行

## 小川 紗綾佳(作曲家・ピアニスト・打楽器・シンガー)

2008年、武蔵野音楽大学卒業。作曲家としてCM・番組テーマの制作や楽曲提供を行う。2020年、ソロアルバム「百穂鎧盤」リリース。  
2023年札幌G7環境大臣レセプションにて自作曲を演奏。2025年、自然体験と芸術体験を融合した長沼「じぶん」アート塾【Naja】を設立

## 有馬圭亮(作曲家・ピアニスト)

2010年大阪教育大学在学中に局所性のジストニアを発症し左手のピアノ曲の演奏を始める  
2013年、現田茂夫指揮、日本センチュリー交響楽団、M.ラヴェル作曲「左手のためのピアノ協奏曲」の協演を機に演奏活動に復帰。  
2020年音楽文化の普及と国際交流の取り組みを評価され「東久邇宮記念賞」を受賞

## 端 聡(美術家・CAI現代芸術研究所アートディレクター)

日本国内はもとよりブレーメン、ヴェザーブルグ現代美術館、ウェーデル・エルンスト・バーラフ美術館、ベルリンダレムミュージアム、  
上海現代美術館、光州国立博物館ほか国内外で多数の展覧会に出品。近年では、あいちトリエンナーレ2016、札幌国際芸術祭2017に出品。  
1996年「VOCA/Vision Of Contemporary Art」(東京・上野の森美術館)で奨励賞、プタペスト国際彫刻絵画ビエンナーレ(ハンガリー)  
で美術教育文化財団賞受賞。2004年、札幌文化奨励賞。2012年、北海道文化奨励賞。2024年、札幌芸術賞

イベント ( Event )

10.4(SAT) 14:00 ACTワークショップ(ガイダンス施設)

募集 先着25名 対象 小学生~大人まで

お問合せ 炭鉄港推進協議会 TEL:0126-20-0034(平日8:45~17:30)

参加申込は下記  
二次元コードから

**ACT**  
ART PROJECT GROUP

### 【ACTによる石炭アートワークショップ】

[ACT ART PROJECT GROUPは、岩見沢を中心に、アートを通じた地域活性化事業として様々なプロジェクト、  
ワークショップを行う北海道教育大学岩見沢校有志で構成されたアーティストチーム]

石炭は何千年何億年前からの地球の財産であり、石炭を活用し生まれた文化は人類の創造性そのものです。アート  
を通して、これらの財産が、この先も人々の中に行き渡って欲しいと願い石炭を使った楽しいワークショップを行います

